

## 第 32 回国際がん登録協議会学術集会 (IACR2010) の横浜開催に向けて

味木 和喜子

事務局長、IACR2010 募金委員会委員長

本協議会が共催する第 32 回国際がん登録協議会学術集会 (IACR2010) の開催年になりました。本ニューズレターが皆様のお手元に届く前後には、研究発表の抄録受付を開始している予定です。

### 1. プログラムの概要

近年、世界的に国レベルでのがん対策が進められており、がん登録が必須の情報インフラであるという認識が定着しつつあります。わが国においても、2006 年にがん対策基本法が成立し、がん登録に対する関心が、がん患者・医療関係者・行政担当官を中心に高まりつつありますが、一方で、一般国民の中でのがん登録の認知度は低いレベルに止まっており、社会で実感できる成果の利用も不十分です。そこで「がん登録と社会との調和」を本学術総会のメインテーマとしました。

サブテーマとしては、(1) がん対策とがん登録、(2) がん医療の質とアウトカム研究、(3) がん登録資料の最新分析手法、(4) リスク評価のためのがん登録、を取り上げました。地域性豊かな演者の皆様に基調講演をお願いするとともに、口演およびポスターによる幅広い研究報告を期待しております。抄録受付は 4 月末日までです。

プレミーティングコースでは、「生存解析」の講義を、国際的な第一人者であるロンドン大学のコールマン先生にお願いしております。解析手法のみならず、生存率の意義や事例について、最先端の情報を得る良い機会になると信じます。

### 2. 登録方法と登録料

WEB (<http://www.cancerinfo.jp/iacr2010/>) による事前登録を 9 月 10 日まで受け付けます。事前登録料は 45,000 円です。それ以後は、当日の会場での受付となり、登録料は 50,000 円です。登録料には、学術集会への参加にあわせて、3 日間の昼食、ウェルカムレセプション、夕食会 2 回分の費用が含まれます。

本協議会の構成団体、賛助団体に所属される関係者の皆様向けに、食事代を含まない特別登録料 15,000 円も準備致しました。学術集会のみの参加を希望される方は、本協議会の WEB (<http://www.jacr.info/index.html>) よりご登録ください。

### 3. 広報と募金活動

A4 版変形のリーフレットとポケットティッシュをお配りしております。まだまだ残部がございますので、がん登録活動の広報の一環としてご利用ください。また、企業や関連団体には、寄付金のご協力もお願いしております。リーフレット等の利用、募金のお問い合わせ、ご質問、ご要望等、IACR2010 事務局 ([iacr32@accessbrain.co.jp](mailto:iacr32@accessbrain.co.jp)) までご一報ください。

IACR2010 は、国内外の関係者にとって、最新の情報を交換し、親交を深める機会です。皆様の研究報告およびご参加を、横浜でお待ちしています。

## 国立がんセンターがん対策情報センター がん情報・統計部地域がん登録室便り

松田 智大 丸亀 知美 味木 和喜子

国立がんセンター がん対策情報センター  
がん情報・統計部

2010 年になりました。本年 4 月には国立がんセンターは、独立行政法人となります。私達地域がん登録室を取り巻く環境が劇的に変わる、そのような年になりそうです。

### 1. IACR2010 の開催準備

さて、今年には地域がん登録全国協議会の共催である、第 32 回国際がん登録協議会学術総会 (IACR) が横浜で 10 月 12 日から 14 日に開催されます。地域がん登録室にはその事務局があります。「なんとなく先のこと」と感じたイベントが、今年に入り俄に現実味が帯びてきました。地域がん登録全国協議会の会員向けの参加枠もありますので、奮って演題登録、参加申し込みをお願いいたします。10 月 15 日には地域がん登録全国協議会が主催の公開講座や例年の研究会と同様ポスターセッションも予定しております。前回の日本開催は 1984 年ということですから、日本での学術総